

	号外	定価 1部2円	人事異動で転居される場合は、県職労総合共済・じちろう共済の住所変更等の手続きをお忘れなく！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

# 2016春闘⑤ 県議会改正給与条例可決・公布

## 2015給与改定 3月31日差額支給実現へ！

### 一方…4月から給与制度の総合的見直し導入 勤務意欲確保・賃金改善は継続課題

県議会は、2月定例会最終日の3月24日に給与条例を可決し、25日に条例・規則が公布された。併せて、2015賃金改定が4月に遡及して適用となることに伴い、当局は2015賃金改定に係る差額支給を左表のとおり行うこと明らかにした。組合員の切実な訴えを背景に粘り強い要望・交渉により、勝ち取った運動成果として、やっと差額支給が実現することになる。

給与（差額）の種類	支給予定日
給与月額（差額）、期末・勤勉手当(0.2月分)、実績給の一部（新システム分：2015年9月～2016年2月）	3月31日（木）
実績給の一部（旧システム分：2015年4月～8月）	4月15日（金） （4月月例と同日）

実績給：特殊勤務手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当等

一方で、給与制度の総合的見直しの4月実施が確定した。平均1%の賃下げ（高齢層で最大3%）により、本年4月には県職員の約5割が現給保障の対象となる恐れがある。このことにより行政職4級・5級相当を中心に現給保障期間満了時（3年間）までに給与水準が回復しない職員が相当数に上るなど、職員の勤務意欲確保策が重要な課題となる。春闘が佳境を迎えているが、2016年度も引き続き勤務意欲が持てる賃金改善に向け、取組みを強化していく必要がある。引き続き取り組みへの結集をお願いする。

## 人事異動：赴任期間は7日間です

新所属への着任期間は発令日から1週間以内とされています。県職労は3月4日人事課長交渉で着任期間の確保を要求し、人事課長から「円滑な業務の引継ぎを優先するとともに、旧所属の状況、職員の移転の状況を含め、新所属と話し合っって適切に着任日等を決定いただきたい」との回答を引き出しています。業務の引き継ぎなど、異動手続きをしっかりと行うため、新旧それぞれの職場での確認により、必要な赴任期間を確保しましょう。

## 県職労総合共済・じちろう共済 住所変更等の手続きお忘れなく！

人事異動等により引っ越しされる場合には、県職労総合共済の住所変更や『住まいる共済』（火災共済・自然災害共済）の住所・建物（保障対象物件）の変更手続きが必要です。この手続きを忘れると、災害などのいざという時の手続きに時間を要したり、場合によっては保障を受けられないこともあります。

詳しくは、最寄りの書記局に御相談を。

# 3. 27北上市議選結果

## 平野あきのり / 星あつこ

### 激戦制し推薦候補2人の上位当選勝ち取る

3月27日、北上市議選の投開票が行われ、少数激戦を制し、県職労が推薦した『平野あきのり』（48歳・新人、北上市職労、自治労組織内）、『星あつこ』（57歳・現3期、社民党公認、平和環境和賀郡労センター）ともに当選を果たした。この間の各組合員のご協力に感謝する。

定員26人に対し27人が立候補し、少数激戦となり、特に平野・星両候補が拠点とする北地区は4候補がひしめく大

激戦となった。平野さんは、自治労構成単組・地元後援会組織がフル回転し支持を浸透、初挑戦ながら見事2位の上位当選を果たした。星さんは、3期12年の実績を訴え、和賀郡労センターや地元後援会組織による支持浸透の成果が実り、10位の上位当選を勝ち取ることができた。北上市議会に私たちの代表として2人の議員を送り出すことができたのは大きな成果で、4月の大船渡市議選・組織内「平田ミイ子」、7月参院選（比例）・社民党党首「吉田ただとも」（自治労組織内）の勝利につなげていかなくてはならない。改めて組合員の御協力をお願いしたい。



（左）支援者から花束を受け取り喜びの表情の「平野あきのり」さん  
（右）4期目の当選に笑顔で応える「星あつこ」さん

平野あきのり 1,965票（2位）当選  
星あつこ 1,733票（10位）当選

北上市議選の成果を大船渡市議選の勝利につなげよう

「ほっとする街 おおふなと」実現のため

『平田ミイ子』支持拡大を



4月17日告示・24日投開票の大船渡市議選が目前だ。北上市議選での勝利を追い風に、県職労組織内『平田ミイ子』の必勝に向けて、支持拡大に全力を挙げる。平田ミイ子さんは「ほっとする街 おおふなと」をモットーに、「女性の力が発揮できる環境づくり」「だれもが住みやすく安心して暮らせる町づくり」「平和で安心な暮らしの実現と格差のない社会づくり」を政策に掲げる。生活者・労働者の声を議会に届け、真の地方自治実現のためにも、組合員はもとより、家族、友人・知人への支持拡大をお願いする。